

31.2.28

佐倉市

教育センターだより Vol.47

平成31年2月28日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486)2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/13-6-0-0-6.html>



『平成の30年 そしてこれからの歩み』

佐倉市における合理的配慮

佐倉市教育センター所長 佐藤 和浩

平成最後のクリスマス、平成最後の正月、平成最後の成人式…。このところ「平成最後」という言葉が、様々なものの頭に付くようになりました。

「平成」の30年間を改めて振り返ってみると、教育の世界にもたくさんの出来事や、大きな変化があったことがわかります。

平成元年に、「児童の権利条約」が国連で採択され、平成4年には、学校週5日制に向けて第2土曜日が休業日になりました。また、平成9年には、ダイオキシンの問題で学校の焼却炉使用が禁止され、環境問題に対する認識が高まりました。

平成13年には、あの痛ましい池田小学校児童殺傷事件が発生し、不審者侵入に対する防犯体制の見直しが進められました。文部省と科学技術庁が統合されて「文部科学省」となったのもこの年です。

平成19年には、全国学力・学習状況調査が43年ぶりに全国一斉実施され、平成21年の新型インフルエンザの流行や、23年の東日本大震災では、学校の危機管理体制が大きく取り上げされました。

思い浮かぶままに並べてみても、その後の大きな教育改革につながるターニングポイントとなった出来事も多かったのではないかと思います。

教育センター事業の大きな柱である『特別支援教育』においても、平成18年の学校教育法の一部改正により、平成19年度から特殊教育が正式に特別支援教育となり、発達障害を含めた特別支援教育に関する理解が広がりました。そして、平成28年の「障害を原因とした差別の解消の推進に関する法律」によって、『合理的配慮』の提供が義務付けられ、障害のある子供たちの教育的ニーズに、これまで以上に応えていくことが求められるようになりました。

下記事項は、佐倉市の幼・小・中学校で実際に行われている合理的配慮です。今後の取組の参考にしていただけたらと思います。

〈佐倉市立幼・小・中学校における合理的配慮の例〉

- 定期テスト問題のルビふりや読み上げを行った。
- ひらがな表、カタカナ表、九九表等を手元に置き、いつでも活用できるようにした。
- 学習中、タブレットの使用を許可した。
- 定期テストの用紙と解答欄を拡大（A4をA3へ）した。
- テストの解答をパソコンで行えるようにした。
- 罫線ノートだけではなく、本人の実態に合った大きさのマス目ノートを選択できるようにした。
- 一人一人の提出かごを用意し、手紙や連絡帳の提出方法をわかりやすくした。
- 体の機能改善のため、特別支援学校と連携して通級による指導を受けられるようにした。
- 車いすでの移動がスムーズにいくよう、スロープを設置したり、階段昇降機を活用したりした。
- 耳の聞こえに困難がある児童のために、ロジャーペン（デジタルワイヤレス補聴援助システム）を教師が着用した。
- ホワイトボードに予定を記述して見通しをもたせるようにした。
- 色を識別しやすいチョークを使うようにした。



昔から学校では、『不易と流行』の大切さが説かれています。「友だちを思いやる。」「公共のルールを守る。」「礼儀正しくする。」「差別をしない。」等、これまで同様、時代が変わっても大切にしていきたい『不易』と、『合理的配慮の提供』をはじめ「外国語活動」「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」「プログラミング教育」等、社会の変化によって柔軟に対応していく『流行』は、どちらもたいへん重要なものだと言えます。

特別支援教育に限らず、子供たちのニーズや保護者の価値観、社会の要請が多様化、複雑化している今、『不易』と『流行』のどちらも大切にしながら、これまで以上にバランスよく子供たちの教育に当たっていく必要性を感じています。

新しい元号が4月に発表されます。教育センター業務の重要性を所員全員で改めて確認し、身を引き締めながら新たな時代のスタートを切りたいと思います。

「平成最後」の教育センターだよりを手に取っていただき、ありがとうございました。



平成30年度 全国学力・学習状況調査

全国学力・学習状況調査の結果より、佐倉市の児童・生徒の学習状況について全国と比較しながら、傾向の分析及び改善のヒントについてまとめました。 ※チャートの点線…全国平均

小学校



分析 考察

【国語】

○相手や目的、状況等に応じて、自分が伝えたいことを適切に話すこと。

▲目的や意図に応じ、資料等から適切な内容を取り上げて、相手に伝わるように書くこと。

【算数】

○条件に合う図形を見つける等、「**図形**」の領域のうち基礎的な内容。

▲グラフと、関係する情報を**関連付けて解釈**し、言葉や数を用いて説明すること。

【理科】

○調べた結果について考察するとき、問題に対応した視点で分析すること。

▲根拠や理由を示しながら**自分の考えを説明**すること。

【質問用紙】

○基本的生活習慣や規範意識、自尊感情。

▲学校外で**地域の大人**と遊びやスポーツ等で**関わること**。

改善のヒント

- ☆**国語**…相手に伝わるように書くために、事例を挙げて具体的に説明するようにする。資料のどの部分と関連付けて書いているのか、伝えたいことを相手が理解しているかどうか等を確認することも大切である。
- ☆**算数**…複数の観点でグラフを読み取ることができるようになる。その際、グラフのどの部分に着目して読み取ったのかを説明し合い、友達が読み取った情報を**関連付けて解釈**することが大切である。
- ☆**理科**…自分の予想にとらわれずに「**事実**」と「**解釈**」の両方を表現することで、より的確な説明になることを捉えさせる。解釈した内容が**問題と正対**しているかを確認したり、**考え方の根拠を明確に**したりすることが大切である。

中学校



分析 考察

【国語】

○文学的な文章の、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、**内容を理解**すること。

▲目的に応じて説明的文章を読み、**内容を整理して書く**こと。

【数学】

○球が回転体としてどのように構成されているかの理解や、見取図・投影図から**空間图形を読み取る**こと。

▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を**数学的に説明**すること。

【理科】

○複数の地震の記録と緊急地震速報の情報とを**関連付けて分析し、解釈**すること。

▲知識・技能を活用して問題を解決し、**条件を制御した実験を計画**すること。

【質問用紙】

○学習習慣や規範意識。

▲学校外で**地域の大人**と遊びやスポーツ等で**関わること**。

改善のヒント

- ☆**国語**…説明的文章を読む際、図表が文章のどの部分と関連しているか、図表は文章の中で**どのような役割をしているか**、文章の内容を捉えるために**どのような図表が必要か**等について、考えたり話し合ったりする。
- ☆**数学**…問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかといった「**用いるもの**」と「**用い方**」を確認した上で、表、式、グラフの「**用い方**」について説明する活動を取り入れ、**数学的な表現**を用いて説明できるようにする。また、互いの説明を比較検討する活動を取り入れることも大切である。
- ☆**理科**…探究する際、始めに「変化すること」と「原因として考えられる要因」を全て挙げ、**妥当性を検討**する必要がある。「要因」を**変える条件**と**変えない条件**とに整理し、**実験計画**を検討して改善できるようにする。



佐倉学道德 ~佐倉ならではの道徳授業を~

市内のそれぞれの地域には『佐倉学道德』の教材となりうる素材があります。地域の歴史、自然、人物、文化に関するものであれば、『佐倉学道德』の素材となります。身近な素材を用いることで、子供たちが実感を伴って考えを深めることのできる『佐倉学道德』の授業が成立します。市内の小学校においても、それぞれの地域素材を活用した授業研究が進み、実施されています。教育センターも佐倉ならではの道徳授業づくりを支援していきます。

《佐倉学道德のデジタル教材の活用を!!》

教育センターでは、デジタル配付した佐倉学道德教材のさらなる活用を目指していきたいと考えています。それぞれの地域の特色や素材に合わせた活用が可能な教材であり、また、他教科や他領域での学習と関連させること（カリキュラム・マネジメント）もできる内容となっています。

①『おしえて、カムロちゃん』(小学校低学年)

カムロちゃんから話を聞くことを通して、自分たちの住んでいる佐倉市のことについて改めて見つめ直していくことができる。

②『香川 松石』(小学校中学年)

日本全国で使われた習字の教科書の文字を書いた香川松石の生き方や願いにふれ、みんなの役に立つ活動をする気持ちについて考えることができる。



③『倉次 亨』(小学校中学年～高学年)

佐倉藩士のために製茶業を興した倉次亨と「佐倉茶」について映像資料等を視聴し、集団の中での役割と協力することについて考えることができる。

④『佐倉の魅力を伝えたい』(小学校高学年)

映像資料を通して、ふるさとを守るためにガイドボランティア活動をしている方々の思いにふれ、魅力的なまちづくりとは何か考えることができる。

⑤『新しい農業への挑戦～冬水田んぼの取り組み～』(小学校高学年)

「不耕起冬水田んぼ」に取り組む方々の思いや苦労について知り、新しいものを進んで取り入れ、生活をよりよくするための工夫について考えることができる。

⑥『印旛沼の環境について考えよう』(中学校)

「印旛沼環境基金」の方の話を聞き、環境をよくするためにどのように関わっていけばよいか話し合い、環境に対する考え方を深めることができます。



市民の図書ボランティア ~一緒にやってみませんか?~

市民のボランティアとは?

- 保護者だけでなく、地域にお住いのみなさんが対象です。
- 市内の中学校の図書室で活動します。
- 図書室の装飾、本の修繕、読み聞かせ等、子供たちが本に親しみ、訪れたくなるような環境づくりのお手伝いをします。



市民のボランティアの活動を始める前に

- 教育センターが「こうほう佐倉」を通じて募集を行い、面接ののち登録をしていただきます。
- 学校の要請と登録者の希望が一致すると、ボランティア派遣となります。
- 市民の図書ボランティアは、学校既存の図書ボランティアグループと一緒に、必要とされる活動に加わります。



今年度の取組

- 6月15日号「こうほう佐倉」で募集を行い、8名に登録していただきました。
- 今年度は、市内小中学校5校に6名を「市民の図書ボランティア」として派遣しました。

7月に本の修理の研修会に参加しました。
難しかったけど、初めて知ることがたくさんありました！（参加者の声より）



授業のユニバーサルデザイン推進

～インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組として～



「授業のユニバーサルデザイン」とは、「授業全体を子供たちにとって分かりやすい授業にしていくことの総体」です。通常の学級には、発達障害のある児童生徒を含め、授業に対して困難を感じている児童生徒が在籍しています。インクルーシブ教育システムの構築に向け、「授業のユニバーサルデザイン」と「合理的配慮」の融合が必要であり、どの児童生徒にも「あると便利」な工夫を増やしていくことは大切です。

「授業のユニバーサルデザイン」と「合理的配慮の融合」→特別支援教育の視点
わかりやすい授業=「できた！」「わかった！」という実感・達成感



教科教育の充実

- ・わかりやすい導入や展開の工夫
- ・授業のねらいがはっきりしている
- ・子供がめあてを理解している



特別支援教育の充実

- ・特性に沿った授業展開の工夫
- ・特別支援教育の手法を授業に生かす



特別支援教育支援員の役割

～一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実に向けて～



特別支援学級だけでなく、通常の学級においても、特別な教育的ニーズを必要とする幼児児童生徒に対して適切な支援を行うことが求められています。特別支援教育支援員は、担任等の目や手が届きにくい部分を支援するとても大切な存在です。担任と特別支援教育支援員が協力し、適切な支援を充実させていくことが大切です。

基本的生活習慣の確立における支援

- ・自分で食べることが難しい幼児児童生徒の支援
- ・授業場所を離れられない担任の代わりにトイレ支援



学習活動や教室移動等における支援

- ・読むことに困難さがある児童生徒への、教科書等の読み上げ
- ・車いすの幼児児童生徒の移動支援



健康・安全確保関係における支援

- ・体育や家庭科等、実技を伴う学習場面（マラソンの伴走や調理で火を扱う場面等）での安全確保

行事における支援

- ・集団参加への不安が強い幼児児童生徒に対し、距離を取って参加したり、一部の活動に参加する時の付き添い